

授業のポイント

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが大切です。

次の4つのポイントを意識して、「考え、議論する道徳」の授業を構想しました。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ○ 問題意識を持たせる | ○ 自分との関わりで考えさせる |
| ○ 多面的・多角的に考えさせる | ○ 自己の生き方について考えさせる |

小学校3年生 C-(13) 勤労、公共の精神 「ごみステーション」のポイント

<ねらい> 自分ができる仕事を見付け、みんなのために働くことのよさを考えようとする道徳的心情を育てる。

導入

道徳的価値の理解を基に・・・

①<問題意識を持たせる> ②<自分との関わりで考えさせる>

- ・ 「お手伝い」に対するアンケート結果を提示し、今までの生活経験を振り返ることで自分との関わりで考えさせ、本時の課題に対する問題意識を持たせる。

③<自分との関わりで考えさせる>

④<多面的・多角的に考えさせる>

- ・ 主人公の「わたし」が、おじいさんの行動を見て考えたことを、これまでの自分の体験から感じたり、考えたりしたことを基に考えさせる。
- ・ ペアや全体で意見を交流することによって多様な意見に触れられるようにする。
(中心的な発問) ◎ごみステーションの片付けをしているおじいさんと自分を比べて「わたし」はどのようなことを考えたでしょうか。

⑤<自己の生き方について考えさせる>

⑥<自分との関わりで考えさせる>

- ・ アンケート時の自分の考えと授業を通して考えたことを比べることや今後の生活に生かしていきたいことを視点として示し、振り返らせる。
- ・ 進んで働くことの大切さについて書かせることで、自分の生活を振り返り、自己の生き方についての考えを深めさせる。

展開

終末